

第2章 各総室の平成28年度事業概要

第2章 - I 保健総室の概要

I - 1 指導予防課

1 医務薬務

(1) 医務

人口 10 万人当たりの医療施設数、医療従事者数とも、県平均、全国平均よりも少なく、また、医療施設、医療従事者がむつ市に集中しています。

病院等の立入検査は、病院等の医療機関が、医療法その他関係法令により規定された人員及び構造設備を有し、かつ適正な管理を行っているか否かについて検査することにより、科学的かつ適正な医療を行う場にふさわしいものとするを目的として行っています。

院内の事故防止対策の実施状況の確認のほか、医療従事者の勤務状況の確認に重点を置いて実施しました。

ア 医療施設数等

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分	総 数	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村
病 院	4	3	1			
病 床 数	632	584	48			
一 般	454	406	48			
精 神	54	54				
結 核	0	0				
感 染 症	4	4				
療 養	120	120				
一般診療所	44	36	1	3	1	3
無床診療所	36	29	1	2	1	3
有床診療所	8	7		1		
病 床 数	109	90		19		
歯科診療所	23	19	1	2		1
助 産 所	0					
施 術 所	30	28	2			
歯科技工所	6	4	1			1

※一般診療所には特別養護老人ホーム等に設置されている入所者専用の医務室等を含む。

イ 医療従事者数

(平成 26 年 12 月 31 日現在)

区 分	総 数	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村
医 師	104	95	6	3		
歯 科 医 師	36	32	2	1		1
薬 剤 師	83	77	2	4		

ウ 立入検査の状況

区分	26		27		28	
	対象施設数	対象施設数	対象施設数	立入件数	対象施設数	立入件数
病 院	4	4	4	4	4	4
一般診療所	44	19	44	16	44	15
歯科診療所	23	6	23	9	23	8
助 産 所						
施 術 所	35	7	32	11	30	13
歯科技工所	6		6		6	

エ 救急告示医療機関

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

No.	施設名	所在地	告示年月日	TEL
1	むつ総合病院	むつ市小川町一丁目2-8	平成29年2月1日	22-2111
2	国民健康保険大間病院	下北郡大間町大字大間字大間平20-78	平成29年2月1日	37-2105

(2) 薬務

薬局・医薬品販売業・毒物劇物販売業のほとんどは、むつ市に集中しています。薬事監視は主に管理者の適正管理、手続等の記録の保存、制限品目の確認及び服薬指導の実施状況の確認に重点をおき実施しました。

また、麻薬取扱施設についても立ち入りし、記録・残数の確認等、適正使用についての指導を行いました。

ア 薬務関係施設数

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区分	市町村名					
	総数	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村
医薬品製造業（専業）	1	1				
化粧品製造販売業	1		1			
化粧品製造業	1		1			
薬局製剤製造販売業	4	4				
薬局製剤製造業	4	4				
薬局	23	21	1	1		
店舗販売業	19	15	1	1		2
一般販売業	0					
卸売販売業	7	5		2		
配置販売業	0					
特例販売業	1			1		
一般	1			1		
歯科						
ガス						
医療機器修理業	4	3		1		
高度管理医療機器等販売業等	34	30	1	3		
管理医療機器販売業等	145	132	7	3	2	1
毒物劇物販売業	41	29	3	6	1	2
一般	30	20	3	5		2
農業用	8	6		1	1	
特定品目	3	3				
麻薬取扱施設	56	48	2	4	1	1

イ 薬務関係監視の状況

区分	26		27		28	
	対象施設	監視施設	対象施設	監視件数	対象施設	監視件数
医薬品製造業（専業）	1		1		1	
化粧品製造販売業	1		1		1	
化粧品製造業	1		1		1	
薬局製剤製造販売業	4	2	4	3	4	
薬局製剤製造業	4	2	4	3	4	
薬局	23	12	23	15	23	11
店舗販売業	21	11	19	9	20	10
一般販売業						
卸売販売業	7	4	7	3	7	4
薬種商販売業						
配置販売業						
特例販売業	1	2	1		1	1
医療機器修理業	4	2	4	2	4	2
高度管理医療機器等販売業等	32	18	34	18	34	15
管理医療機器販売業等	129	9	145	13	144	16
毒物劇物販売業	41	18	41	20	41	16
麻薬取扱施設	58	38	57	30	56	32

ウ 大麻・けしの除去状況

大麻については、過去に管内で自生していた場所があるため調査しました。

けしについては、不正栽培の発見があり、栽培者に除去させました。

(i) 大麻除去本数

区分	年度		
	26	27	28
管内	調査除去延箇所数		
	除去本数		
県内	調査除去延箇所数	180	192
	除去本数	77,357	373,622
			117,122

(ii) けし除去本数

区分		年度	26	27	28
管内	調査除去延箇所数		76	85	20
	除去本数		306	3, 229	615
県内	調査除去延箇所数		241	339	110
	除去本数		8, 460	18, 930	19, 188

エ 献血バスによる献血状況

市町村献血推進協議会により、地域住民への献血思想の普及、職場における献血協力体制の組織化、献血バスの運行の手配等、広く献血活動が行われています。

管内献血者数 平成 27 年度 1, 690 人 → 平成 28 年度 1, 857 人

献血バス県全体 平成 27 年度 23, 578 人 → 平成 28 年度 22, 907 人

区分	全血献血（献血バス）				
	目標量 (L)	確保量 (L)	達成率 (%)	200ml (人)	400ml (人)
市町村					
むつ市	554.4	609.4	109.9	57	1, 495
大間町	33.6	40.0	119.0		100
東通村	50.4	57.6	114.3		144
風間浦村	16.8	13.6	81.0		34
佐井村	16.8	10.8	64.3		27
管内計	672.0	731.4	108.8	57	1, 800
青森県	9, 357.6	9, 006.2	96.2	783	22, 124

※ 献血バス（成分バス）は、21 年度から廃止となっている。

オ 薬物乱用防止啓発活動

実施事項	開催日	場所	対象者	対象人数
青森県薬物乱用防止 指導員むつ地区 協議会総会	平成 28 年 6 月 30 日(木)	むつ来さまい館	青森県薬物乱用 防止指導員	17 名
研修会	平成 28 年 6 月 30 日(木)	むつ来さまい館	青森県薬物乱用 防止指導員	17 名
薬物乱用防止教室	平成 28 年 7 月 5 日(火)	むつ市立関根中 学校	生徒及び教職員	37 名
薬物乱用防止教室	平成 28 年 7 月 12 日(火)	むつ市立近川中 学校	生徒及び教職員	58 名
薬物乱用防止教室	平成 28 年 10 月 12 日(水)	県立大間高等学 校	生徒及び教職員	224 名
薬物乱用防止教室	平成 28 年 11 月 2 日(水)	県立むつ工業高 等学校	生徒及び教職員	150 名
薬物乱用防止教室	平成 28 年 11 月 10 日(木)	県立大湊高等学 校川内校舎	生徒及び教職員	15 名
薬物乱用防止教室	平成 28 年 11 月 25 日(金)	むつ市立脇野沢 小学校	生徒及び教職員	16 名

2 各種助成・給付事業

(1) 青森県肝炎治療特別促進事業（肝炎治療費助成制度）

平成20年度より、将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止を図ることを目的にインターフェロン治療による「肝炎治療医療費助成」を行っています。医療費助成の対象は年々拡大しており、平成26年9月にはC型慢性肝炎又はChild-Pugh分類AのC型代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療（ダクラタスビル及びアスナプレビル併用療法）が医療費助成の対象になっています。

<肝炎治療受給者証申請件数> (件)

区分 年度	インターフェロン治療	インターフェロン 3剤併用治療	インターフェロン フリー治療	核酸アナログ製剤 治療
平成28年度	0	0	38	44
平成27年度	0	1	41	42
平成26年度	6	9	4	33

(2) 青森県特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が重いことから、費用の一部を助成しています。

平成28年度の管内の助成件数は54件となっています。

(3) 石綿（アスベスト）に係る健康相談状況

石綿（アスベスト）に係る健康被害状況について関係企業から相次いで公表されていることを契機として、住民の石綿に対する健康不安が高まっていることを受けて、県では、国の指示を受けて保健所においてアスベストに関する健康相談を平成17年7月より実施し、平成28年度は、来所相談及び石綿健康被害救済給付申請件数は1件でした。

3 会議

(1) 下北地域保健医療推進協議会

この協議会は、青森県保健医療計画に基づく地域における保健医療活動を効果的に推進するために設置しており、保健医療福祉に従事している者、学識経験者、行政機関の職員及び関係団体の役職員等を委員に、地域の課題や取り組みについて協議し、保健医療計画に反映していくものです。

平成 28 年度は、以下のとおり地域協議会及び保健対策部会を開催しました。

開催日時	開催場所	出席数	内 容
平成 29 年 3 月 2 日 (木) 18:30~20:00	むつグラ ンドホテル	委員 23 名 オブザ ーバー 5 名	◆下北地域保健医療推進協議会及び同保健対策部会合同会議 <議事> (1) 役員改選 (2) 報告事項 ア 平成 28 年度下北地域健康なまちづくり事業（めざせ！下北MUE N（無煙）タウン事業）実施状況について イ 平成 29 年度下北地域健康なまちづくり事業（めざせ！下北MUE N（無煙）タウン事業）（予定）について (3) 協議事項 ア 受動喫煙対策の推進について イ がん死亡率の低減に向けて (4) 情報提供 保健・医療・福祉包括ケアシステムについて

(2) 下北地域新型インフルエンザ対策協議会

この協議会は、下北地域における新型インフルエンザ対策の充実を図るため、二次医療圏ごとに設置され、医療・消防・警察・行政関係者等を委員に、圏域における新型インフルエンザにかかる医療提供体制や下北地域新型インフルエンザ医療確保シートの策定について協議を行います。

平成 28 年度、協議会の開催はありませんでした。

(3) 下北地域災害医療対策協議会

この協議会は、災害時において関係機関が連携して地域医療を確保するため、二次保健医療圏ごとに平成 26 年度から設置され、医療・消防・行政関係者等を委員に、災害時の医療提供体制の確保・構築のために協議を行い、災害時には、圏域の災害医療に関する基本的な情報の収集・整理、医療資源の確認及び災害時の医療連携体制を構築するに当たって必要な資源の把握、関係機関の情報共有、医療ニーズの把握・分析等を行います。

平成 28 年度、協議会の開催はありませんでした。

4 地域保健関係者研修

多様化・高度化する保健ニーズを有する地域住民がより主体的に健康を高め、地域において安心して生活できるよう、その支援者である地域健康福祉部・市町村等の地域保健関係者が、健康な地域づくりを目指して専門的知識や技術を習得し、生活者重視の視点にたった保健福祉サービスが提供できるように、地域保健関係者の資質の向上及び関係者間の連携強化の方法について研修することを目的として実施しました。

回数	年月日	研修内容		対象者	受講者数				
		テーマ	講師等		健康福祉部	市町村	関係者	その他	計
1	平成 28 年 8 月 8 日	保健師連絡会議 (第 1 回) (1) 講話 「最近の公衆衛生の動向」 (2) 講話・意見交換 「保健師の人材育成に向けた 体制づくりについて」ー中堅 期保健師育成を中心にー (3) 協議及び情報交換 「平成 28 年度重点事業、新規 事業等の取組について」	むつ保健所 技師 (医師) 矢野 亮佑 がん・生活習慣病対策課 主幹 館田 有佳子	管内保健師 (リーダー期保健 師、地域包括支援 センター保健師)	7	8	1		16
2	平成 28 年 9 月 17 日	神経難病患者の在宅療養支援	青森県立中央病院 医療連携部 神経難病医療専門員 藤田 香央里	管内協力医院、訪 問看護ステーシ ョンや居宅介護 支援事業所の看 護師、介護支援専 門員、市町村保健 師など	5	2	25		32
3	平成 29 年 2 月 27 日	保健師連絡会議 (第 2 回) (1) 情報提供 「元気で活力あるむつ市を目 指して」～若い世代へのアプ ローチ～ (2) 研修伝達 「今、リーダーに問われてい る保健師の人材育成、期待さ れること」 (3) 協議及び情報交換 「平成 28 年度重点事業、新規 事業等の取組状況について」	むつ市健康推進課 医療主幹 木村 公子 むつ保健所 健康増進課 主幹 鳥谷部 牧子	管内保健師 (リーダー期保健 師、地域包括支援 センター保健師)	6	8			14